



ふきのとう

第38号

【発行】
社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <http://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp



理事長あいさつ

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

理事長 関根 浩一

皆様におかれましては、平素より当事業団の運営に対し御支援、御協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

私は、六月二十五日の当事業団理事会において、理事長に就任させていただきました。日頃お世話になっております皆様方に初めてのご挨拶を申し上げます。誠心誠意務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、当事業団は県が設置した福祉施設の受託運営を目的に昭和三十九年に設立され、以降、社会福祉を取り巻く環境の変化に対応しながら、障がい児者、高齢者などを対象に多岐にわたる福祉事業を推進してきており、既に半世紀を超える歴史を刻んでおります。

最近では、昨年度からは秋田県聴覚障害者支援センター業務を県から受託し、関係者の御協力を得ながら聴覚障がいのある方々の相談支援、情報取得などのコミュニケーション支援の拠点として、どなたにも気軽にご利用いただけるセンター運営に努めております。

また、心身障害者コロナーに設置した強度行動障がい専用棟においては、障がい特性の十分な理解に基づく適切な支援を研究実践することにより、強度行動障がいの低減を図ることができるよう取り組んでおります。

一方で、当事業団の利用者の皆様は、高齢化に加え障がいの重篤化もあり、その変化するニーズへの柔軟な対応と、それを可能にする人材確保や施設整備が重要な課題となっております。

当事業団といたしましては、モットーである「安心と豊かな生

活(くらし)をまごころで」を念頭に、社会情勢の変化を踏まえつつ、課せられた使命について絶えず検証し、利用者により寄り添った真に必要なサービスを提供することで、利用者の皆様が地域社会で豊かさを実感しつつ、安心・安全で安定した生活を送ることができるよう努めてまいります。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、これまで当事業団においても可能な限りの感染予防対策を講じてきましたが、この間、利用者の御家族や関係者の皆様には多大な御協力をいただいたてまいりました。これまでの御協力に改めて御礼を申し上げます。

今後とも、逐次感染状況を見極めながら、各施設の活動のあり方について検討してまいりたいと考えておりますので、皆様にはなお一層の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【目次】

- P 1 ・ 理事長あいさつ
- P 2 ・ 放課後等デイサービス事業所「さくらっこ」
- P 3 ・ 令和二年度決算報告
- P 4 ・ 令和二年度事業報告概況
- P 5 ・ 心身障害者コロナー職員紹介
- P 5 ・ 心身障害者コロナー就労継続支援B型事業について
- P 6 ・ 老人専用マンション入居者募集表彰

施設紹介

放課後等デイサービス事業所「さくらっこ」

阿校園放課後等デイサービス事業所「さくらっこ」が令和三年八月より移転開所しました。移転先は、横手駅から車で五分、平鹿総合病院の近くです。近隣には、スーパーマーケットやコンビニエンスストアもあります。イメージキャラクターの「さくらっこちゃん」の看板が目印です。

さくらっこには、現在十三名の方が登録しています。小学四年生から高校三年生の子どもたちが利用しており、毎日、元気な声が響いています。創作活動やダンス、季節の行事等も取り入れながら一人ひとりの発達に合わせた支援に努めています。コロナ禍の中で外出等が難しい現状ですが、今後も感染症予防に努め、子どもたちが楽しめる活動を工夫して提供していきたいと思っております。

地域の資源を活用し、子どもたちがのびのびと成長できるように、また、卒業後の生活に向けて、保護者の方々や関係機関と連携を図りながら支援していきたいと思っておりますので、今後よろしくお願ひいたします。



令和2年度決算報告

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,701,859,917	1,610,527,742	91,332,175	流動負債	390,387,790	342,376,751	48,011,039
				固定負債	626,686,328	622,127,898	4,558,430
固定資産	6,096,926,138	5,856,753,481	240,172,657	負債の部合計	1,017,074,118	964,504,649	52,569,469
				純資産の部			
基本財産	2,585,104,307	2,694,528,198	△ 109,423,891	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	1,470,693,487	1,530,006,514	△ 59,313,027
				その他の積立金	2,638,859,575	2,305,382,933	333,476,642
その他の固定資産	3,511,821,831	3,162,225,283	349,596,548	次期繰越活動収支差額	2,662,158,875	2,657,387,127	4,771,748
				(内当期活動収支差額)	(338,248,390)	(332,570,960)	5,677,430
				純資産の部合計	6,781,711,937	6,502,776,574	278,935,363
資産の部合計	7,798,786,055	7,467,281,223	331,504,832	負債及び純資産の部合計	7,798,786,055	7,467,281,223	331,504,832

資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,881,146,867
事業活動支出計	4,476,629,643
事業活動資金収支差額	404,517,224
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	58,205,370
施設整備等支出計	79,765,192
施設整備等資金収支差額	△ 21,559,822
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	79,228,048
その他の活動支出計	423,289,864
その他の活動資金収支差額	△ 344,061,816
予備費支出	
当期資金収支差額合計	38,895,586
前期末支払資金残高	1,394,375,748
当期末支払資金残高	1,433,271,334

事業活動計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,871,566,331
サービス活動費用計	4,541,703,258
サービス活動増減差額	329,863,073
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	9,656,541
サービス活動外費用計	8,960
サービス活動外増減差額	9,647,581
経常増減差額	339,510,654
特別増減の部	
特別収益計	57,864,370
特別費用計	57,930,534
特別増減差額	△ 66,164
税引前当期活動増減差額	339,444,490
法人税、住民税及び事業税	1,196,100
法人税等調整額	0
当期活動増減差額	338,248,390
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,657,387,127
当期末繰越活動増減差額	2,995,635,517
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	41,865,354
その他の積立金積立額	375,341,996
次期繰越活動増減差額	2,662,158,875

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「事業報告・決算」ボタンからアクセスしていただくことができます。

令和二年度 事業報告概況

(一) 県有施設等の経営

秋田県心身障害者コロニー等三施設は秋田県から無償借受を継続、令和二年度より新たに受託した秋田県聴覚障害者支援センターはコロナ禍の中、積極的な相談支援や情報提供及びセンター内の環境整備に努めました。

(二) 自主設置施設の経営

秋田県から譲り受けた高清水園、阿桜園等三施設及び自主設置した由利本荘地域生活支援センターを経営するほか、開所二年目の障害者支援センター御所野では、収支状況が安定し、堅調な事業運営となりました。

(三) コンプライアンスの徹底

ハラスメント防止のための規程を整備し、相談窓口となる相談・苦情処理委員の設置や相談受付の多様化などの体制を強化しました。

(四) 権利擁護の徹底

各施設の虐待防止委員会の機能強化、全職員を対象とした自己点検結果の改善、人権意識を高める研修の充実等に取り組みました。また、虐待防止責任者会議を開催するとともに、内部監査体制を見直すなど虐待防止の取組を強化しました。

(五) 相談支援体制等の充実

情報交換や講師を招いての研修を実施し、相談支援専門員の専門性の向上を目指しました。また、他機関との連携により複合的ケースにも対応できる相談支援体制等の強化に努めました。

(六) 正規職員採用

令和三年四月一日付で福祉職八名、栄養士一名を採用、令和三年五月一日付で技師一名、令和三年六月一日付で医師一名を中途採用しました。

(七) 契約職員の待遇改善

入所施設の支援員の確保と職場定着を図るため、国の特定処遇改善加算を活用し、夜間勤務を行う職員を重視した賞与の引上げを行いました。

(八) 専門性を高める職員研修

利用者ニーズに基づいた支援内容、行動特性に配慮した支援計画について施設担当者間で検討し、さらなる資質の向上を図りました。

(九) 強度行動障がい支援等のスキルアップ

県から受託した強度行動障害支援者養成研修や虐待防止・権利擁護研修を実施し、広く県民の障がい福祉の理解に寄与するとともに、事業団独自に強度行動障害支援者養成研修のフォローアップ研修を開催しました。また、支援アドバイザーの指導・助言を受けながら障がい特性の理解や援助技術等の習得に努め、職員のスキルアップを図りました。

心身障害者コロニー職員紹介



秋田県心身障害者コロニー診療所 所長 泉 山 真 史

ちようど二十年前に外科研修医として過ごした当地に奉職するご縁をいただきました。利用者の方々には新たなことを教えられる毎日を支えてくれるのは、有能なスタッフと当地出身の妻、そして地産の山海美味です(特に液体)。



秋田県心身障害者コロニー 管理課 技師 柴 田 敬

この度保守担当として採用となりました。施設管理の仕事に就くのは初めてですが、様々な状況に対応できるように技術を学び、利用者の皆様が安全・安心に生活が出来るような施設の維持管理に努めて参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

心身障害者コロニー就労継続支援B型事業について

秋田県心身障害者コロニー就労継続支援B型事業では、企業や公共機関等から不要になったパソコン等の小型家電を引受け、解体分別しリサイクルする「基板事業」を十一名の利用者で行っております。

この事業は、平成二十三年に新潟県の障害者施設で始まった小型家電の解体事業ですが、今では全国五十四事業所の障害施設が加入するまでになり、平成二十八年には協議・情報交換の場として、「日本基板ネットワーク」が設立されています。コロニーは平成三十一年四月に県内の事業所としては初めて加入。事業開始時は一〇〇社以上の企業等を訪問し、ご協力をお願いし、現在では約四十二社と取引があり、年間二千台を処理するまでとなりました。

作業内容は、小型家電の提供企業まで利用者と一緒に回収に向かうところから始まります。回収後は解体作業です。作業の全工程を一人で行うこともできますが、利用者の能力や特性に配慮し、シール等剥離、電動ドライバーや工具を使用しての部品の取り出し等、様々な作業を細分化し、一人一人の利用者が仕事に自信と喜びをもって取り組めるよう工夫に努めています。他の作業では休みがちな方が持続して作業に取り組むことができ、やりがいを持って毎日出勤しております。

この事業で一番気を付けていることが、取引先の重要な情報の漏洩です。その対策として「出張解体」を行い、利用者と共に取引先を訪問し、その場で記憶媒体（ハードディスク等）を物理的

に破壊してから回収させていただいております。ハードディスクが転売され企業や自治体の機密情報が流出した事件が相次いで以降、安全安心な出張解体の対応の依頼が増えており、高評価をいただいております。

この事業に多くの方が賛同し信頼していただけるよう努めて参りたいと思っておりますので、不要なパソコンや小型家電等ございましたらご連絡いただけますよう、今後ともご協力とご支援をよろしくお願い致します。

事業に関するお問い合わせ 秋田県心身障害者コロニー「開工房」

TEL 0184-33-4527
FAX 0184-33-2044



老人専用マンシヨン入居者募集

平成三年に開設した秋田県南部老人福祉総合エリア老人専用マンシヨンも今年度で三十年となり、開設当初は健康型有料老人ホームとして運営してまいりましたが、平成二十七年より住宅型有料老人ホームへ移行、平成三十年度には二階居室をバリアフリー化しました。また、介助を受けながら入浴できる浴室「ぬくもりの湯」と特殊浴槽「ほっこりの湯」が完成し、介助が必要な方でも在宅の介護サービスを受けながら安心して生活ができる施設にリニューアルしております。季節折々に応じた食事の提供や行事等、ゆとりある生活空間で、落ち着いた日常生活を過ごす事ができます。またエリア内のコミュニティセンター大浴場や屋内温水プールも無料で利用でき、健康づくり、介護予防にも最適な施設となっております。生活相談員、看護師、栄養士を配置しており、様々な御相談を承りながら、ゆとりある環境で、自分らしい生活を続けていくためのお手伝いをさせていただきます。

また、エリア内の居宅介護支援事業所や訪問介護事業所もご利用いただけます。「まんず、来てたんせえ。」(是非、お越しください。)



＜屋内温水プール＞



＜大浴場＞



ぬくもりの湯 (個浴室)



ほっこりの湯 (特殊浴槽)



☆ 表彰 ☆

○全国社会福祉事業団協議会会長表彰
(永年勤続功労)

秋田県心身障害者コロニー

支援係長 蓬田博

主査 菅原亘之

主査 伊藤真弓

主査 佐藤泰昭

主査 山方由樹雄

由利本荘地域生活支援センター

主査 菅原悠

○秋田県知事表彰 (社会福祉功労者)

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

課長 高橋徹

主査 畠山音子

高清水園

管理係長 織山茂樹

支援係長 佐藤祐誠

上席看護師 大場祐子

秋田県心身障害者コロニー

課長 高橋孝幸

主査 齋藤純一

秋田県南部老人福祉総合エリア

支援係長 三浦志子

○秋田県社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉功労者)

秋田県心身障害者コロニー

支援係長 蓬田博

主査 菅原亘之

やまばと園

主査 佐藤泰昭

受賞おめでとうございます。